

ランチタイム

県立播磨
特別支援学校
令和7年度
4月号

新しい1年が始まりますね。新入生は、環境が変わり、期待や、やる気に満ちている反面、知らず知らずのうちに、ストレスや疲れをためやすい時期です。元気に学校生活を送れるように1日3回の食事と、睡眠をきちんとする習慣をつけましょう！食育だより『ランチタイム』では、食に関する知識・意識してほしい内容をテーマとしてあげて、毎月発行しています。生徒だけが対象ではなく家庭や多くの方が興味関心を持ち、食育につなげてほしいと思います。



正しい食習慣を身につけましょう！

成長期に正しい食習慣を身につけることは、健康な体をつくるだけでなく、心も安定して過ごすことにもつながります。しっかり食育を学び、社会で自立できる力を身につけましょう！

◆早寝早起き・朝ごはんで生活リズムを整えましょう！

朝ごはんは大切なエネルギー源です。集中して学習するためにきちんと食べましょう。また、できる人は、朝ごはんを自分で用意しましょう。

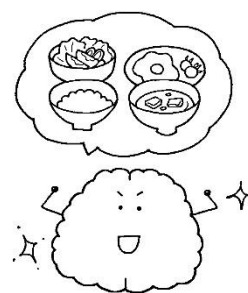
◆食べ物を大切に、食べられることに感謝しましょう！

生産者や調理をする人、食材の命をいただくことなどに感謝の気持ちを持つように『いただきます』『ごちそうさま』のあいさつは忘れずに！

朝から脳を元気にするには

わたしたちは、朝食で午前中のエネルギーや栄養素を補給しています。朝食ぬきはエネルギー不足で、脳を元気に働かせることができません。

また、朝食におかずをたくさん食べている人の方が、テストの点数がよいという研究結果もあります。朝から脳を元気にするには、主食だけではなくおかずをしっかり食べることが大切です。



4月食育目標

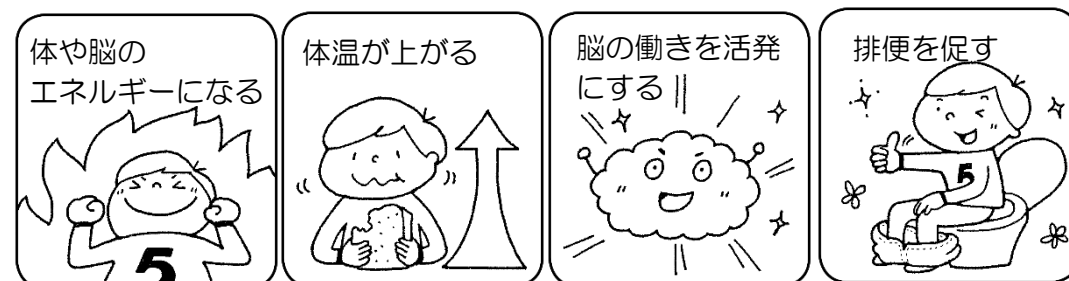
普通科・総合ビジネス科：時間をみて食べましょう
就業技術科：バランスのよい食事について考えましょう



毎日、朝食を食べましょう！

しっかり朝ごはんを食べることで、脳や体にスイッチが入ります。体温が上がり、身体の動きが活発になり、集中力アップにつながります。

..... 朝ごはんの効果



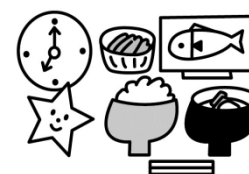
朝食をぬくとどうなるの？



朝食をぬくと、エネルギー不足になるだけではなく、午前中に体温をうまく上げることができず、基礎代謝量も減ってやせにくい体になります。脂肪をためやすい体になってしまいます。また、物事に集中できなくなったり、イライラしたりするなど、心身の不調の原因になります。

朝ごはんを食べるための工夫

・夕食は寝る
2時間前までにすませる



・寝る前にお菓子を食べたり、夜ふかししたりしない



・朝起きたら
日の光を浴びる



・日中は元気に体を動かす

